

平成20年7月16日

《よこしん》景気動向調査結果について
—平成20年4～6月期実績、7～9月期予想—

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】 前期より1.4ポイント悪化の-18.0

業況判断DIは-18.0と、前期（-16.6）よりも1.4ポイント悪化し、6期連続の悪化となりました。業種別では、製造業が対前期で3.8ポイント悪化、非製造業も0.1ポイント悪化しました。来期（7～9期）の予想値は、-17.7と僅かに0.3ポイント改善を予想していますが、依然として厳しい業況が続きます。

【その他主要DI】

<売上額 DI> -15.9（前期）から -11.2（今期）へ 4.7ポイント改善
<収益 DI> -24.5（前期）から -25.7（今期）へ 1.2ポイント悪化
<在庫 DI> 5.4（前期）から 7.1（今期）へ 1.7ポイント過剰感増加
<資金繰りDI> -17.3（前期）から -17.7（今期）へ 0.4ポイント悪化

【特別調査：正規社員の採用状況等について】

ここ3年程度の人手の過不足感について、人員は適正とする先が約6割と最多回答で、不足とする先は3.5割強、過剰とする先は僅かとなりました。新卒採用については、ここ3年程度では実績がない先が約8割と大多数を占めました。また、新卒採用はしない方針である先も6割強と多くなっています。中途採用については、ここ3年程度に約5割弱の先が採用実績があったと回答しており、その内、「主に経験者を採用した」に約3割、「経験に関係なく採用した」が1割強となっています。採用の課題については、「特になし」が4割弱、「人材育成」が約2.5割、「業務の魅力向上」と「職場環境の改善」にそれぞれ2割強の回答がありました。

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）767先 有効回答数：732先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査 調査時期：平成20年6月上旬

その他詳細につきましては、別添の「YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION」をご覧ください。

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗